

もりドラ

～もりぐちで生きる。をドラマチックに・・・～

淀川で見かけるボートチームに興味を持った市民モデル、みちたかさんが取材テーマとして逆提案。取材を申し込んだこのチームは大阪大学漕艇部。体力に自信のあるみちたかさんにチームの練習を体験していただきました。

メイク中

メイク前



今回の市民モデルは、市内在住のみちたかさん。



協力美容院も募集

市民モデル事業の趣旨に賛同し、市民のメイク・ヘアメイクを無償で提供していただける美容院を募集しています。

市民の皆さんが日常から非日常へと変貌していただくためのきっかけのお手伝いをしていただけませんか。

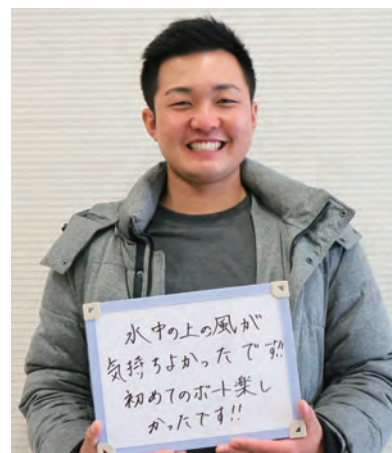
お店の
ホームページ➡



メイク担当 森長理恵さん(右)
ヘアメイク担当 喜納瑞貴さん(左)

みちたかさんの感想

いつもワンパターンの髪型が、この日は格好よく仕上げてもらって気合いが入りました。体力には自信があったのですが、ボートは腕だけではなく全身の力が必要で、さらに漕ぐ時は仲間と息を合わせないと速く進まないのでも苦戦しました。でも丁寧に指導してくれたのでとても楽しく、貴重な体験をさせていただきました。



市民モデル申し込み方法

申し込みなどの詳しい内容は、市ホームページ(QRコード)をご覧ください。

問 広報広聴課
TEL 06-6992-1353



大阪大学漕艇部(部員総数70人)

大阪大学漕艇部(阪大ボート部)は明治29年(1896年)創設以来、120年以上にわたり活動を続けています。

当初の拠点、桜ノ宮からこの守口(八雲北町3-41-18)に練習の場を移したのが昭和44年(1969年)。この場所は水質が良く、ボートの練習に必要なスペースが川岸にあったことが拠点に適しているとのことでした。ここで精神力、技術、体力の心技体を鍛え抜くために日々練習に励んでいます。

また、平成30年5月、市内淀川河川内で発生した水難事故に遭遇した際には、日ごろの練習で培った経験と技術を生かし、部員が救助に貢献されました。



教えて新入部員

新入部員の二人にお話を聞かせてもらいました。

岩佐さんは自分に打ち勝つ力の不足は実感しているものの、自分自身の伸びしろに期待し1番を目指しているとのこと。

盛本さんは中学、高校のバドミントンからチームスポーツに惹かれて新しい競技に挑戦。体を鍛えるだけでなく、食事にも気を遣うので大変だそうです。自分の成長を数値で見られ、実感できるので楽しいとのこと。

2人の目標はインカレ(全日本大学選手権大会)の表彰台に立つことです。



岩佐真太郎さん
ボートとは…
ずっとやっていたい

盛本瑚乃さん
ボートとは…
未知の世界

阪大ボート部のご好意で

ボートに乗せてもらうことに！

漕手8人、舵手1人で構成されるエイト(ボートの長さ約17メートル)を体験。部員の皆さんの力を借りて、淀川を勢いよく駆け抜けることができました。取材に訪れた日の天気は晴れ。風も波もおだやかで絶好のボート日和でした。



オールを持ち方、漕ぎ方などの基本的な動作や注意事項の説明を受けます。



見た目は格好いいボート競技ですが、想像以上のハードな練習を実感しました。慣れない動作に手こずりながらも、最後はオールの扱いにも慣れ、うまく水をかくことができるようになっていました。

この守口で目標を持って練習に励む若い選手の大きな舞台での活躍に期待しています！

いざ淀川へ

舵手のかけ声に合わせて、皆でオールの動きをそろえます。

